

Liveアンケート

名前	質問内容
学生	<p>対面授業が主流になっても「レポート提出はWebで」という形でLMSを使っています。資料や課題が電子ファイルで完結することで整理がしやすくなっています。動画視聴型のオンライン授業ではLMSにリンクを貼って、そこから閲覧をすることが多いです。スマホからでも動画が見られるので、遠距離通学の学生は電車の中で動画を見ることもあるそうです（これが良いか悪いかは置いておきますが……）</p>
専務理事	<p>授業のための「ハコ」の使用が減少する中で施設・設備・水光熱費等の経費は減少していると思います。その費用を学費の軽減に充てるのも良いのですが、それよりは、コロナ禍における「孤」に対応するべく「個」に着目した手厚いフォローにコストと手間をかけることもありうると思います。小規模で無名に近い大学がコロナ禍前に規模の原理で淘汰されかかっていた状況が散見されていましたが、チャンスとすべきかもしれませんし、また大規模で資金規模はあっても個々のフォローが教員職員の負担となりやすい大学の課題も新たにできてきていると思います。そのあたりはどのように感じられていますでしょうか。</p>
専務理事	<p>ありがとうございます。2020年度入学のいわゆる不十分だった対応の学生に対して、今だからできる対応などは検討すべきでしょうか。ネガティブな意味でのコロナ禍一期生を作らないために、という意味もありますが、そもそもその世代の学生さんは自分たちのことを「なんとなく不十分で不幸かもしれないが、どれくらいの水準で足りていないか、何を卒業までに得るべきか、をつかめていない方も多いと思いますので。</p>
マスコミ他	<p>大変興味深いお話をお聞かせいただき、どうもありがとうございます。なるほどと思う面、改めて気づかされる面等いろいろとありました。私が個人的に気になることを書かせてください。2つあります。これらをどうバランスしていくのか、気になりました。</p>
マスコミ他	<p>1) 学生さん個人個人の視点からは、自分が入学して、2年、3年と進学してく経験のみによるもので、彼らにとっては今現在、どのような問題を抱えていて、どうしたらいいのか、ということが問題になると思います。</p>
マスコミ他	<p>2) 一方、大学という組織、仕組み、これからのオンライン授業等を考える立場からは、次の1年生、2年生等の学生に対してどのように改善していけばいいかということが問題になると思います。</p>
生協職員	<p>貴重なご報告をありがとうございました。</p> <p>この2、3年、講義のスタイルが大きく変わっていることは学生さん方から伺って、なんとなくは存じていましたが、先生のご報告を拝聴し、どのような学びのスタイルができているのか、理解が深まりました。ありがとうございます。</p> <p>質問ではなく、1つお願いになるのですが、この貴重なご報告のパワーポイント資料を京大生協部内で共有させていただくことはできないでしょうか。今回参加できていない職員にもぜひ読んでもらいたいと思っております。ご検討いただけますと幸いです。</p>